

# 南港野鳥園などと廃止

## 経費削減 大阪市 8施設見直し

大阪市は20日、「大阪南港野鳥園」(住之江区)など広く市民が利用する5施設を廃止、3施設で料金体系を変更することなどを決めた。いずれも2014年度までに見直し、同年度だけで年間約1億7000万円の経費削減を見込む。

市は昨年7月に策定した市政改革プランで、採算が合わない施設などの運営見直しを打ち出していた。市によると、渡り鳥の生息地として知られ、年約11万人が訪れる野鳥園のほか、年5万人近くが利用する「大阪南港魚釣り園」(同)は、担当スタッフによる管理をやめ、野鳥観察や魚釣りは市民が自己責任で行う形とする。高齢者向け生涯学習

施設「いきいきエイジングセンター」(北区)と「青少年センター」(東淀川区)も廃止し、売却を検討する。一方、「クラブパーク」(平野区)は開館時間や料金を見直し、鶴見緑地(鶴見区)内の貸しホール「水の館ホール」「陳列館ホール」は指定管理者制度を導入する。

### ◆大阪市が実施する施設の見直し

施設名	年間利用者数	見直しの内容
いきいきエイジングセンター	9万7000人	廃止
舞洲野外活動施設	8万1000人	廃止
青少年センター	21万人	廃止
大阪南港魚釣り園	4万8000人	施設は廃止し、護岸とする
大阪南港野鳥園	11万1000人	施設は廃止し、緑地とする
クラブパーク	5万6000人	開館時間や料金体系の見直し
水の館ホール	利用率は36.5%	指定管理者制度の導入
陳列館ホール	利用率は23.7%	指定管理者制度の導入